

資料2 療養病床に係る看護師、准看護師及び看護補助者の勤務時間の常勤換算算定表(記入例)

診療所名	○×クリニック							常勤の勤務時間	40 h/週 (A)			
氏名	療養病床	換算	月	火	水	木	金	土	日	計	計算	備考
A (看・准・補)	専任 兼任	週 月	日	8	8	8	8	8		40 (B)	$(\frac{40}{40} + \frac{0}{40}) \times (1/4) = \frac{80}{80}$	(A) × 2
B (看・准・補)	専任 兼任	週 月	日	8	8	8	8	8	4	44 (B)	$(\frac{44}{40} + \frac{0}{40}) \times (1/4) = \frac{88}{80}$	$\frac{88}{80} \rightarrow \frac{80}{80}$ (A) × 2
C (看・准・補)	専任 兼任	週 月	日	8	8					16 (B)	$(\frac{16}{40} + \frac{16}{80}) \times (1/4) = \frac{48}{80}$	(A) × 2
D (看・准・補)	専任 兼任	週 月	日						8	32 (B)	$(\frac{32}{40} + \frac{0}{40}) \times (1/4) = \frac{16}{80}$	(A) × 2 月4回勤務
E (看・准・補)	専任 兼任	週 月	日	8		8		8		96 (B)	$(\frac{96}{40} + \frac{0}{40}) \times (1/4) = \frac{48}{80}$	(A) × 2 月12回勤務
F (看・准・補)	専任 兼任	週 月	日		8		8		8	96 (B)	$(\frac{96}{40} + \frac{0}{40}) \times (1/4) = \frac{48}{80}$	(A) × 2 月12回勤務
(看・准・補)	専任 兼任	週 月	日							(B)	$(\frac{0}{40} + \frac{0}{40}) \times (1/4) = \frac{0}{80}$	(A) × 2
(看・准・補)	専任 兼任	週 月	日							(B)	$(\frac{0}{40} + \frac{0}{40}) \times (1/4) = \frac{0}{80}$	(A) × 2
(看・准・補)	専任 兼任	週 月	日							(B)	$(\frac{0}{40} + \frac{0}{40}) \times (1/4) = \frac{0}{80}$	(A) × 2
(看・准・補)	専任 兼任	週 月	日							(B)	$(\frac{0}{40} + \frac{0}{40}) \times (1/4) = \frac{0}{80}$	(A) × 2
看護師(准看含む。)の合計人数			3名								看護師、准看護師の 常勤換算値の合計 = $\frac{208}{80}$	(A) × 2 【IV】 2.6名
看護補助者の合計人数			3名								看護補助者の 常勤換算値の合計 = $\frac{112}{80}$	(A) × 2 【V】 1.4名
総計			6名								看護師、准看護師及び看護 補助者の常勤換算値の合計 = $\frac{320}{80}$	(A) × 2 【VI】 = 【IV】 + 【V】 4.0名

注1: 本表には、様式(4)-2に記入した「専任」並びに「兼任」に該当する看護師等の療養病床における業務の従事時間を記入すること。

注2: 備考欄には、週単位でない変則勤務の場合に記入すること。(例: 月1回金曜勤務、隔週勤務、宿直専門等)

注3: 週単位でない変則勤務の場合は、月単位で換算し、各曜日及び計のB,C欄に1か月間に勤務する時間の合計を記入した上で、計算欄において、1週間当たりの勤務時間に換算するために1/4を掛けるものとする。

注4: 常勤換算処理をする際の端数処理は個人ごとに行うのではなく、全員の数値を積み上げた後で行うものとする。なお、換算値は小数点第2位を切り捨て、小数点第1位まで算出すること。(例: 4.45→4.4)